



三日野 おやじの会 活動報告 5



平成19年5月18日
三日野おやじの会

「第三日野小学校 おやじの会」は、校舎屋上に芝生を張る作業を実施しました。また、6月23日に開催を予定している「親子うどん作り体験会」に向けたリハーサルを、当日、実際に使用する学校の備品を使用して行いました。

《校舎屋上の芝生張り作業》

5月12日(土) 午後0時に集合したおやじたちは、作業姿に着替えた後、材料の運搬に取りかかりました。芝を張るのは、校舎の一番奥(家庭科室の上)の屋上部分です。生徒達が授業中に下から屋上まで運んだ500袋の土を、今度はリヤカーに載せて、屋上の深部まで移動します。



校舎の屋上に、約7m四方の枠を組立て、その中にビニールシート、プラスチックパネル、不織布を順に敷き、その上に500袋の土を盛っていきます。盛られた土は、麦踏みの要領で上から板で踏み固めていき、芝生シートを綺麗に張った上に砂を撒いて、最後に水入れ式を行いました。

今回は、三種類の芝生を張りました。ブルーグラス、ティフトン&バミュダ、センチピートで、芝の強さなどに違いがあります。この芝は、三週間くらいかかって安定していくとのこと、ちょっとしたピクニック気分を味わえる小さなお庭が完成することになります。



《うどん作り体験会リハーサル》

6月に予定されている「親子うどん作り体験会」のリハーサルを、おやじの会で行いました。今回は、うどん作りだけのリハーサルではなく、実際に使用する部屋(理科室とランチルーム)や資機材(家庭科室の食器やガスバーナー等)を使用してのリハーサルです。また、当日の役割分担なども含め、詳細な打ち合わせがなされました。ここで、うどん作りの簡単な手順を紹介しましょう。



決まった分量の中力粉と食塩水を用意します(粉100gに対し、水48cc、塩5g)。粉をボウルにあけ、食塩水を少しずつ加えながら、ソボロ状に練っていきます。そのまま練り続け、耳たぶ程度の柔らかさの生地ができれば、ビニール袋に入れてしばらく寝かせます。寝かせた生地をまな板の上のせ、粉を頻りに掛けながら(打ち粉)、麺棒で縦横に伸ばして均等に広げていきます。伸ばした生地(めん帯)にたっぷり打ち粉をして折り畳み、包丁で切っていきます。切った麺をほぐし、沸騰しているお湯で10分ほど茹でれば、美味しい手打ちうどんの出来上がりです。

《編集後記》

炎天下の屋下がり、おやじたちは頑張って芝張り作業を完成させました。当初の予定よりも2時間近く余計に掛かりましたが、子供達の笑顔を想像しながら、手順良くこなして行きました。都会では芝生との触れ合いが少なくなった今日、子供達の憩いの場となれば、おやじたちも大満足です。うどん作りに関しては、そろそろベテランの域に近付いてきたおやじたち。これからも腕に磨きをかけて、6月の本番に向けて、準備を整えていきます。乞うご期待! (文責 山田)